

テーマ		発進！ わたしたち 里山たんけんたい											
4年生の目標		(自ら学び、自ら考える) 虎御前山に興味を持ち、自分の調べたい課題をもち、見通しを持って学習を進めることができる。 (他者や自分を大切にすること) 森林を守る地域の人々の思いを知り、友達と協力して活動して自分の考えを深めることができる。 (自己の生き方を考える) 追求したことをもとに、自分にできることを考えて、具体的に行動することができる。											
		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
		つかむ			追求する・深める				発信する				
単 元 計 画 内 容	学	春の虎御前山との出会い (35) ・里山について調べたい年間継続テーマをもち、(森林、竹、木の実、野草、鳥、虫、花、動物、空気、ごみ...など) 里山(虎御前山)と奥山(高山)とのちがいや、森林についての講師の方から話を聞く。 「やまのご学習」体験 ・「やまのご学習」に向けて ・「やまのご学習」で学んだことを、(溪流探検、水生生物調査、間伐体験、木工クラフト、ネイチャーゲーム、竹炭の実験、竹の食器作り)を各自が新聞にまとめて、学級で発表会を開く。 (溪流探検、水生生物調査、間伐体験、木工クラフト、ネイチャーゲーム、竹炭の実験、竹の食器作り) 夏の虎御前山との出会い				竹林整備体験をする。 (39) 伐採した竹の利用方法を調べ、考える。 ・竹炭、たけの食器や器、竹馬、その他 竹炭について詳しく知る。 ・作り方 ・竹炭のよさ ・竹炭の利用方法 ・竹炭の利用実験 秋の虎御前山との出会い 中間発表会 ・年間継続テーマとして調べてきたことを、同じテーマ同士が集まる壁新聞などにまとめ、学年で中間発表会を開く。 ・竹炭や野草、木の実、木の葉...など、里山からの収穫物やそれらを利用して作ったものなども展示				冬の虎御前山との出会い (26) テーマ別、里山学習の発信 ・テーマ解決のために虎御前山へ行く。 ・里山学習の年間継続テーマについて調べてきたことを、里山大図鑑(大型パネル)にまとめ、全校児童に発信する。 (森林、竹、木の実、野草、鳥、虫、花、動物、空気、ごみ...など) 里山の魅力発信 虎御前山の魅力を、虎姫町の人々にポスター、立て札、ちらし、新聞などで発信する。			
	関連	理科(春の自然、夏の自然) 社会(命とくらしをささえる水)				理科(秋の自然) 国語(伝え合うということ) 道徳(富士山を救え)				理科(冬の自然) 国語(新聞記者になろう)			
	意欲	・虎御前山や講師の方の話に興味や疑問を持ち、意欲的に調べようとする。				・講師の方に、伐採した竹の利用方法や、自分のテーマについて知りたいことや疑問点を、意欲的に調べたり、質問したりしようとする。				・里山の魅力について調べたことや分かったことを、虎姫町の人々に発信する方法を意欲的に考えようとする。			
	評価	課題設定 ・講師の方の話や「やまのご学習」をもとに、調べたいことを決めることができる。				・講師の方の話や竹林整備、竹炭作り体験をもとに、調べたいことを決めることができる。				・追求してきた年間テーマをもとに、里山の魅力の発信方法を自ら見つけたり、支援を受けながら見つけることができる。			
	観点	追究 ・自分が調べたいテーマについて、見通しを持って追究することができる。				・自分が調べたいテーマについて、友だちと意見を交流する中で、考えを深めることができる。				・わかりやすい発信のために、見通しを持って自分のテーマを追究することができる。			
	表現	・調べたことや学んだことを、新聞にわかりやすくまとめ、学級の人々に発表することができる。				・調べたことや学んだことを壁新聞にわかりやすく整理してまとめ、学年の人々に紹介することができる。				・調べたことや学んだことをポスターや看板などにわかりやすく整理してまとめることができる。			
生かす	・自分がしたいことやできることを考えることができる。				・自分がしたいことやできることを考え、学級のみならず家族など身近な人に発信することができる。				・里山の魅力や自分たちができることを考えて、虎姫町内の人々に発信することができる。				